

CASBEE\_Sapporo2014v1.0  
六花亭札幌本店ビル新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.0  
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.1)

スコアシート		基本設計段階			重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理				
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>									
<b>Q1 室内環境</b>									
<b>1 音環境</b>									
1.1 騒音				7階ホールNC20を筆頭に建物全体でNC45を確保している	3.4	0.18	-	-	3.4
1.2 遮音					4.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能					3.0	0.81	3.0	-	
2 界壁遮音性能					3.0	0.19	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					3.0	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音					3.0	0.20	3.0	-	
<b>2 温熱環境</b>									
2.1 室温制御					3.6	0.38	-	-	3.6
1 室温		W			3.0	0.50	-	-	
2 外皮性能					3.0	0.47	3.0	-	
3 ソーン別制御性					3.0	0.19	3.0	-	
2.2 湿度制御					3.0	0.34	-	-	
2.3 空調方式				7階ホール、6階ホワイエの高天井部分は床吹出、その他は天井吹出、	3.0	0.20	3.0	-	
					5.0	0.30	3.0	-	
<b>3 光・視環境</b>									
3.1 昼光利用					3.4	0.17	-	-	3.4
1 昼光率					3.0	0.65	-	-	
2 方位別開口					3.0	0.17	3.0	-	
3 昼光利用設備		W			-	-	3.0	-	
3.2 グレア対策					3.0	0.83	3.0	-	
1 昼光制御		W			3.0	0.09	-	-	
					3.0	1.00	3.0	-	
3.3 照度					3.0	0.04	3.0	-	
3.4 照明制御				作業単位毎に照明回路とリモコンを分けている	5.0	0.22	3.0	-	
<b>4 空気環境</b>									
4.1 発生源対策					3.7	0.28	-	-	3.7
1 化学汚染物質				F☆☆☆☆を全面的に採用	5.0	0.50	3.0	-	
2 気体汚染物質					-	-	-	-	
4.2 換気					2.0	0.30	-	-	
1 換気量					1.0	0.46	3.0	-	
2 自然換気性能					3.0	0.07	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮					3.0	0.46	3.0	-	
4.3 運用管理					3.0	0.20	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視					1.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御				全館及び敷地は全面禁煙	5.0	0.50	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>									
<b>1 機能性</b>									
1.1 機能性・使いやすさ					3.9	0.40	-	-	3.9
1 広さ・収納性					2.8	0.40	-	-	
2 高度情報通信設備対応					3.0	0.07	3.0	-	
3 バリアフリー計画					1.0	0.07	3.0	-	
1.2 心理性・快適性					3.0	0.87	-	-	
1 広さ感・景観				売場天井高3.5mを確保	4.3	0.30	3.0	-	
2 リフレッシュスペース					4.0	0.27	3.0	-	
3 内装計画				素材にこだわるとともに、内装、照明設備の調和を図っている	2.0	0.13	-	-	
1.3 維持管理					5.0	0.60	-	-	
1 維持管理に配慮した設計				防汚性の高い、外装材・内装材の採用	5.0	0.30	-	-	
2 維持管理用機能の確保				清掃用資材保管・廃棄スペースの確保、共用部設備による容易な雑	5.0	0.50	-	-	
3 維持管理業務					-	-	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>									
2.1 耐震・免震					2.9	0.30	-	-	2.9
1 耐震性					3.0	0.50	-	-	
2 免震・制振性能					3.0	0.80	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数					3.0	0.20	-	-	
1 躯体材料の耐用年数					3.0	0.30	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		W			3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		W			3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		W			3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		W			3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		W			3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性					2.8	0.20	-	-	
1 空調・換気設備					3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備					3.0	0.20	-	-	
3 電気設備					3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法					3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備					2.0	0.20	-	-	
<b>3 対応性・更新性</b>									
3.1 空間のゆとり					3.4	0.30	-	-	3.4
1 階高のゆとり				階高は3.9m以上を確保	4.4	0.30	-	-	
2 空間の形状・自由さ				サイドコアによる耐力壁の少ないフレキシブルな空間	5.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり					4.0	0.60	3.0	-	
3.3 設備の更新性					3.0	0.30	3.0	-	
1 空調配管の更新性					3.0	0.40	-	-	
2 給排水管の更新性					3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性					3.0	0.20	-	-	
4 通信配線の更新性					3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性					3.0	0.10	-	-	
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.20	-	-	

CASBEE\_Sapporo2014v1.0  
六花亭札幌本店ビル新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.0  
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.1)

スコアシート		基本設計段階		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目	W	G	S	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>						-	0.30	-	-	4.1
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			G		敷地南側に設けられた豊富な緑地による自生種の保全	4.0	0.30	-	-	4.0
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			G		街並み配慮した外装材(御影石)と豊富な植栽による景観形成	5.0	0.40	-	-	5.0
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>						3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				S		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温暖環境の向上		W	G			3.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>						-	-	-	-	3.3
<b>LR1 エネルギー</b>						-	0.40	-	-	3.8
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>		W			高断熱化(等級1)の外皮性能を確保	5.0	0.20	-	-	5.0
<b>2 自然エネルギー利用</b>		W			ポアホール式地中熱探熱設備を採用(1~4階専有部空調、7階ホール空調)	4.0	0.10	-	-	4.0
<b>3 設備システムの高効率化</b>					BEI 非住宅 - 住宅(専有部) -	3.4	0.50	-	-	3.4
3.1 集合住宅以外の評価(3a,3b)		W			地中熱設備の採用や高効率ビルマルチ空調機を採用	3.4	1.00	-	-	
3.2 集合住宅の評価(3c)		W				-	-	-	-	
<b>4 効率的運用</b>						3.5	0.20	-	-	3.5
4.1 集合住宅以外の評価						3.5	1.00	-	-	
4.1.1 モニタリング		W			電気、水道、ガスの各種メーター設置及び地中熱設備のシステムCOP	4.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		W				3.0	0.50	-	-	
4.1 集合住宅の評価						-	-	-	-	
4.1.1 モニタリング		W				3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制		W				3.0	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>						-	0.30	-	-	3.0
<b>1 水資源保護</b>						3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水					節水コマ、節水型便器を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.60	-	-	
1.2.1 雨水利用システム導入の有無						3.0	0.70	-	-	
1.2.2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>						3.1	0.60	-	-	3.1
2.1 材料使用量の削減		W				3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		W				3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		W				3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		W				3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		W			北海道産のからまつ間伐材を内装材に採用	4.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		W				3.0	0.20	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>						2.7	0.20	-	-	2.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用						3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避						2.6	0.70	-	-	
3.2.1 消火剤		W				2.0	0.33	-	-	
3.2.2 発泡剤(断熱材等)		W				3.0	0.33	-	-	
3.2.3 冷媒		W				3.0	0.33	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>						-	0.30	-	-	3.0
<b>1 地球温暖化への配慮</b>					地中熱設備の採用や高効率ビルマルチ空調機を採用	3.1	0.33	-	-	3.1
<b>2 地域環境への配慮</b>						3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止		W				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		W	G	S		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制						3.5	0.25	-	-	
2.3.1 雨水排水負荷低減		W				3.0	0.25	-	-	
2.3.2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.25	-	-	
2.3.3 交通負荷抑制						3.0	0.25	-	-	
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制		W		S	廃棄物ストックスペース確保とロードヒーティングの整備	5.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>						3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40	-	-	
3.1.1 騒音						3.0	0.33	-	-	
3.1.2 振動						3.0	0.33	-	-	
3.1.3 悪臭						3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制						3.0	0.40	-	-	
3.2.1 風害の抑制						3.0	0.70	-	-	
3.2.2 砂塵の抑制						3.0	-	-	-	
3.2.3 日照阻害の抑制						3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制						3.0	0.20	-	-	
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策						3.0	0.70	-	-	
3.3.2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策						3.0	0.30	-	-	